

# 倉吉市立小学校適正配置推進計画の小学校区別説明会の概要(後半)

## 1 説明会の構成

(1) 教育長あいさつ

(2) 説明(学校教育課長)

・小学校適正配置についての説明

(3) 質疑・意見交換

## 2 実施状況

### (1) 関金小学校区

- ① 日時 平成28年6月28日(火)午後7時30分～9時00分
- ② 場所 関金総合文化センター大会議室
- ③ 参加者 地域住民・保護者・教職員等 12名  
市教委：教育長、教育委員、事務局長、学校教育課長、  
教育総務課長 等



### (2) 上小鴨小学校区

- ① 日時 平成28年6月30日(木)午後7時30分～9時35分
- ② 場所 上小鴨公民館第1会議室
- ③ 参加者 地域住民・保護者・教職員等 159名  
市教委：教育長、教育委員、事務局長、学校教育課長、  
教育総務課長 等



### (3) 北谷小学校区

- ① 日時 平成28年7月5日(火)午後7時30分～8時52分
- ② 場所 北谷公民館大会議室
- ③ 参加者 地域住民・保護者・教職員等 31名  
市教委：教育長、教育委員、事務局長、学校教育課長、  
教育総務課長、生涯学習課長 等



### (4) 高城小学校区

- ① 日時 平成28年7月6日(水)午後7時30分～9時35分
- ② 場所 高城公民館大会議室
- ③ 参加者 地域住民・保護者・教職員等 49名  
市教委：教育長、教育委員、事務局長、学校教育課長  
教育総務課長 等



### (5) 社小学校区

- ① 日時 平成28年7月12日(火)午後7時30分～9時10分
- ② 場所 社公民館第2, 3会議室
- ③ 参加者 地域住民・保護者・教職員等 29名  
市教委：教育長、教育委員、事務局長、教育総務課長 等



### (6) 上灘小学校区

- ① 日時 平成28年7月14日（木）午後7時30分～8時50分
- ② 場所 上灘公民館会議室1
- ③ 参加者 地域住民・保護者・教職員等 19名  
市教委：教育長、教育委員、事務局長、学校教育課長  
教育総務課長 等



## 3 質疑・意見交換の概要 [○：質問・意見 →：教育委員会回答]

### 【推進計画について】

- 合併ありきで進められている印象が強いと言われているが、子ども同士で学ばないといけないことはたくさんあり、いかなる優秀な先生でも教えることは出来ないことがある。男女10人ずつの20人は必要で、旧山守小での2、3人のクラスの雰囲気から比べて、今の関金小学校を見るとやはり20～30人前後の人数は必要だと感じた。子ども達のことを考えたら、計画通りに進めていかないといけない。今、子ども達に何がしてやれるか地域でしっかり話し合って理解していくことが大事である。
- これまでずっと説明会には単独存続という考えで地区のみなさんが集まって話をして教育委員会の方も意見を聞いているにも関わらず、それでも教育委員会は小鴨小と一緒にしようとしているのか。小規模・大規模のメリット・デメリットはあるが、これだけの強い思いで署名もされた経過もあるのに、教育委員会は統合ありきの既成事実を作ってこの計画を出された気がする。これだけ反対があるのに、本当に実施するのか。  
→この統合の話をはじめたときから本当に大変なことだと思っている。おそらく100%反対だろうと、最初から覚悟していた。～省略～ この案については、教育委員会を通しながら、市長とも協議をした。住民との意見交換も必ず市長にも報告している。その中で、市長もこの問題は避けては通れないと言われ、しっかりと議論をするようにということであった。最後の最後は市長が提案し、議会での議決案件になる。しかしそこまでは、みなさんとうやうやってしっかりと話をしなくてはいけないと思っている。
- この再編計画では1学級20人ということだが、現在の子どもの状況として本当に適しているのか。  
→学習するにあたってグループや体育の球技活動、音楽では合奏・合唱などの集団学習の実施ではこれくらいの人数が必要ではないかということである。また倉吉市では少人数学級を導入しているし、学級の人数の規模でクラスの状況を見て必要であれば学習支援員の配置も考えているところである。
- 先回の説明会で北谷・高城と一緒にしたらどうかという提案をしたのが、今回こうして3校の統合計画になってありがたいと思った。
- 娘が1年生だが初めての運動会を見て少ないと感じた。多人数で学校生活した方が揉まれていいし、中学校で社小・高城小と一緒になるなら早くから一緒の方がいいと思う。この統合の話をつつ子どもにするのか。  
→まず協議会で課題解決を図り、次にそれが解決して準備委員会が立ち上がった時と考えている。

### 【統合校について】

- もし合併するならば、小鴨小と関金小と上小鴨小の3校を1校にして、上小鴨小に来たらいい。
- 「統合しないといけないと思っているが、校名が変わるのが困る」という意見は、子ども達を犠牲にしている。
- 対等統合であるとする、確実に校歌も変わると思うが保護者の多数決となると社小に負けてしまうので、吸収合併にならないように確約を願う。  
→準備委員会で校名・校歌は公募するなど話し合う予定で、旧関金小と旧山守小でも同数の委員で協議した。

### 【地域振興について】

- 地方創世を考えるのに教育委員会だけではダメだ。市長も来ていないといけない。倉吉の場合には、産業・教育・民生が分かれている。学校のことは教育委員会、産業は農協と商工会議所に

任せているから、バラバラで鳥取県は発展しないのだ。だから人口が減っていく。大事なのは人口が、減らないようにすること。その為には教育だけではダメで、商工会議所や農協、市役所の3つがひとつになってやらなくてはいけない。優秀な人材を育成すると、どんどん都会へ行って1割しか帰ってこない。益々、地方は廃っていく。そういうところまで、考えてもらわないと困る。

○地域の衰退という言葉が非常に気になる。地域には子どもが帰ってくる。確かに小学校は地域の拠点と言われているが、地区公民館も拠点である。どうなったら衰退するのか疑問に思う。しっかりやらないといけないのは、地区公民館が各自治公民館や振興協議会等を含めてしっかり地域づくりをしなくてはならないと思う。

→この数年で、地域の方が学校へ行く機会が多くなったので、逆に学校がなくなるとそういったことが出来なくなるという不安を持っているようだが、学校の目的は教育であるため、地区公民館や振興協議会とは切り離して考えるべきだが、なかなかその辺の理解が難しい。

○小学校がなくなることによって地域がますます衰退化し、将来子ども達も小学校のない地域には帰って来ないのではないかと心配する。小学校がないことで、お年寄りとの交流も出来なくなり、ますます人口も減ってしまう。もし地域が反対と言ったら、この再編を中止することが出来るのか。

→市報にもこの地域との問題については掲載しているが、確かに倉吉市は地域に学校と地区公民館がありまとまっていたが、地区公民館が2~3ある中の小学校という中学校型の形で考えないといけないと思う。小学校がなくなると地区公民館もなくなると言われる方もあるが、地区公民館をなくすという議論はしていない。厳密に言えば、より地域の拠点になるのは、地区公民館だと思っている。昨年度のシンポジウムで、山田学長が学校という目的があるところの組織と、地域としての目的とは違うと言われた。子どもは学校から帰って来るし、土日など地域で育つ場面はあると思う。そこをしっかりとやっつけていけば、それが地域振興にもなる。地域が寂れるために反対し続けると中止になるかという事だが、このような問題点があるということを言い続けていかなければならない。

#### 【協議会、準備委員会について】

○まず今年度、協議会を作るということだが一体この協議会は何を議論する場所なのか、そしてこのメンバーをどうやって選ぶかと考えた時に、地元で選ぶのか市の方がお願いするのか分からないが、いずれにしても上小鴨は出来ない。すでに上小鴨地区小学校再編問題協議会が、当初からあるわけだから改めて作る必要はない。

○協議会の立ち上げについては、どこが音頭を取って招集するのか。

→協議会立ち上げの主体となるのは事務局だが、地域の意見を聞きながらこのスケジュールに理解されたところから進めていく予定である。

○昨年から言っているが北谷地区は今年の秋には一定の目途を付けるようにしているので、8月に設置しても参加出来ない。こうした予定について一方的に出す事に不信が強まる。同じレベルで教育委員会が示した図面通りにやってくれというのが、それぞれ地域事情があるのでこういう提案はしてほしくない。

→地域事情についてはよくわかるし、スケジュール的な目安は提案するが、地域事情も考えて柔軟に対応をする。あくまでもひとつの方向性として、スケジュール感を出すために提案しているものである。

○高城の現状はまだこれからどうするかを考え始めたところで、協議会に入るのも未定だし、もし入ったとしてもいつ頃からという点も未定である。ただ、子ども達のためにこの再編を前向きに考えないといけないではないかとなった時は、逆に一致団結して協議会に望んでいく。各地区5名程度で3地区計15名とすれば、高城から出た5名は同じ意見で望んでいかななくてはならないと思う。再編の話になると、メリットと共にデメリットのことが発生するが、デメリットについては地域でないとわからないし、解消すべき事も地域だと思う。ただ再編が進んで出て来た時のメリットは3地区合同のメリットであり、逆にデメリットが発生した場合については、3地区共同で解消していかないといけないことだと思っている。

#### 【統合した関金小学校について】

○関金小学校の先生方は、統合してどう感じているか。住民にとっては「子どもは宝」であるので、その子ども達を教える教職員は、どう受け止めたか。

→教職員にとって、この統合にあたっての負荷は大きかったと聞いている。統合前から行った

集合学習では、いろいろ企画したり大変だったようだ。通学においても新しい通学形態になったことで、いろいろと配慮するなど気をつけていたようだが、現在はスクールバスにも慣れて落ち着いて来たようだ。

## 【その他】

- 旧山守小学校の維持管理だが校庭に草がたくさん生えているし、旧山守保育園も草が茂っているが、一体どこが維持管理するのか。地域の方もどこが管理するかも知らされてなく、困っている様子だった。高城も統合した後、同じ事になるのではないかと。
  - 維持管理については、校地も含めて建物は教育委員会の管轄である。6月に一度、学校教育課と教育総務課で草刈りに行ったが、点検を行った際に伸びていたので、来週また教育総務課と一緒に草刈りを行う予定である。やはり地域の方が見られて草が茂っていたら管理を怠っているということになるので、定期的に点検し作業を行うようにしている。協議会長を通じて行政財産としてそのまま教育委員会が管理するということは伝えてあるし、今でも学童保育や体育館もスポ少で使っている。また電気・水道なども今まで通り使えるようにしている。
- 統合して社小へ行くとスクールバスを利用するということが、今は徒歩通学で出会うとあいさつはきちんとするが、そのスクールバスとなると出会わなくなり、あいさつが出来ない子どもになってしまう心配がある。
  - 旧山守小でも同じ意見があった。地域とのふれあいや体力面でのことも心配されていた。保護者に集まってもらって、幹線道路を中心に停留所を決めてもらいそこまでは登校班で歩いて通わせ、その中で地域の人にもあいさつをしている状況である。
- 統合すると倉吉でも一番大きな学校規模になるのではということと、位置的にも社小周辺は現在も次々住宅が建っているところに小学校が建ってしまうと、ますます若い人の流出が想定されてしまう心配がある。3月に示された計画について保護者としてどう考えているかまだ集約出来ていない。今後、小学校単体でなくもっと広い括りで考えていく問題だと思うので、小学校・保育園の保護者と一緒になって考えていく必要があると思う。その辺の整理がつかない状況では、協議会には参加出来ない。保護者の意見がまとまれば、地区の協議会に報告するつもりだし、その相談先としては不透明な部分があり、外に対して求める部分ではなく地区の中で考えないといけないところだと思う。
  - 大事なことだと思いますので、しっかり議論していただきたいと思う。
- 夜はなかなか出掛けにくいこともあるので、保護者の理解を深めるためにも参観日の後に説明会をしてほしい。
  - 保護者の意見を聞きたいと思っているので、学校やPTAから聞きたいということがあれば、いくらでも出掛けて説明する。
- 高城や北谷に来たいと言っている児童があると聞いているが自由に選べる事が出来ないか。鳥取市でも保護者や児童の希望で選んでいるが、倉吉市も自由に選べる権利を作ったらどうか。
  - 鳥取市の小規模転入制度だと思うが、倉吉市が考えている適正配置の主旨に沿った学校規模になることには難しいと思う。また、それぞれの保護者やお子さんの気持ちに寄り添って区域外就学ということで弾力的に行っている。
  - 校区の自由選択については、来たい人もあるように出たい人もある。自由化にして良いこともあるが、逆に地域の中が寂れてしまうこともあり、そのあたりは慎重に考えている。